



# ひろせホーム通信 2021年10月

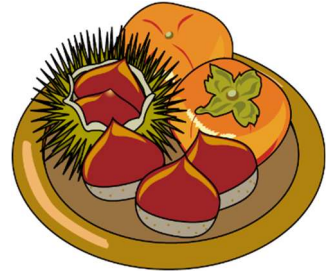


千葉県小規模住居型児童養育事業（ファミリーホーム）ひろせホーム 代表 廣瀬タカ子

食欲の秋。秋の味覚といえばサンマや秋鮭、キノコ類、柿や栗など。特に柿は解熱作用があるので、体調がすぐれない時にオススメです。この時期に旬を迎える食材を多く使うことで、子どもたちには季節を感じてもらいたいです。

また、秋はスポーツの秋、さらには芸術の秋とも言われています。美しいものを愛することによって、子どもの感性を養っていきたいと思います。

今月は十三夜。十三夜は9月の十五夜に次いで美しい月とされています。旧暦の9月13日で、今年は10月18日。食べ頃の栗や豆をお供えすることから「栗名月」「豆名月」とも呼ばれています。最後も食べ物のお話になってしまいました(笑)。



## ひろせホームの家族

Lちゃん・・・小学2年生の女の子。 Rちゃん・・・幼稚園年少（4歳）の女の子。

KJくん・・・男の子。8月で3歳になりました。 YIちゃん・・・女の子。8月で1歳になりました。

YKちゃん・・・高校1年生の女の子。 Aちゃん・・・2歳の女の子。7月中旬の1週間、ホームで暮らしました。

YTくん・・・生後3週間でやってきた男の子。7月下旬の10日間、ホームで過ごしました。

KAくん・・・生後10日で入所した男の子。数日間だけホームで暮らしました。

MYちゃん・・・17歳の女の子。 MHちゃん・・・8月下旬に生まれたばかりの女の子。

ホームのお父さん、お母さんと、おばちゃん（お父さんお母さんの実子）、おじちゃん

KOくん（中3男）、YUちゃん（小6女）・・・おじちゃんとおばちゃんの実子

### ◆7月7日～

RSウイルス大流行。ホームではまずRちゃんに発熱や鼻水、咳などの症状があり、その後全体にまん延。重篤化しないように気をつける一方、手洗いやうがいの徹底、マスク着用などの対策を講じました。

### ◆7月12日

Aちゃん入所。知らない人ばかりで最初は緊張していましたが、徐々に慣れていったようです。

### ◆7月14日

Aちゃんのおむつを交換していると、何も言わずともRちゃんが使用済みのおむつをゴミ箱に持って行ってくれました。年下の子どもが増えたので“お姉ちゃん意識”が芽生えてきたのかな。

### ◆7月19日

当初の予定通り一週間でAちゃん退所。親元に帰るAちゃんはとても嬉しそうでした。

### ◆7月20日

YTくんが緊急入所。赤ちゃんにミルクをあげるお父さん、手慣れたものです。

### ◆7月22～23日

以前ホームの補助員として働いていたOさんが遊びにきました。22日にはYKちゃんの希望で、バーベキューコンロで焼き鳥をしました。火起こしはOさんが担当。Oさんは8月2日にも姪御さんを連れて来園し、子どもたちとゲームを楽しんだ後、オムライスをつくってくれました。

◆7月30日

他の委託先が見つかったのでY Tくん退所。無垢な笑顔に癒されました。元気でね。

◆8月5日

前日に新型コロナウイルスワクチン2回目を接種したおばちゃん、この日は朝から38度を超える発熱。関節痛などの副反応もあって一日中寝込んでいましたが、翌日以降は熱も収まりました。

◆8月10日

伝い歩きを難なくこなすY Iちゃん。この日、数秒間だけでしたが初めて「立っち」に成功しました。

◆8月11日

ビニールプールで水遊び。補助員のK Rさんが準備してくれました。コロナ禍でほとんど外出できなかったLちゃんとRちゃんは大はしゃぎ。K Jくんはプールの周りを走り回っていました(笑)。Y Iちゃんはプールに入れようとする、しがみついて離れません。水が怖かったようです。



◆8月17日

連日の雨。家にこもって体力を持て余していたK Jくん、一瞬の止み間を縫ってお父さんと家の周辺をお散歩。しかし本降りの雨に遭遇。ふだんはのんびりマイペースなK Jくんも、この時ばかりは駆け足で家に引き返しました。

◆8月20日

児相からの要請を受け、夜にK Aくんが緊急入所。生後間もない小っちゃい小っちゃい赤ちゃん。もうすぐ1歳になるY Iちゃんがとても大きく感じられます。

◆8月23日

委託先が見つかったK Aくんが退所。これからもいっぱいミルク飲んで大きくなってね。元気でね。

◆8月25日

K Jくん3歳、Y Iちゃん1歳のお誕生日会&明日で退所するY Kちゃんのお別れ会。K JくんとY Iちゃんに全員でバースデーソングを歌いました。お開きになった後、おばちゃんはY Kちゃんに「感謝の気持ちを忘れたらダメだよ」との言葉を贈っていました。

◆8月26日

Y Kちゃん退所。これからいろんなことがあると思うけど、頑張ってね。

◆8月27日

立っちができるようになったY Iちゃん、最近は数歩だけですが歩けるようになりました。♪～～あんよは上手、転ぶはお下手、ここまでおいで、甘酒しんじょ～～



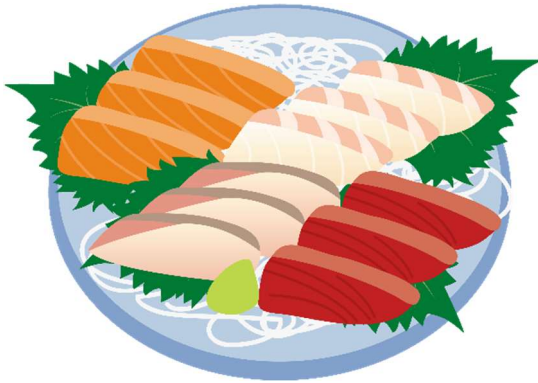
◆8月31日～9月1日

長い夏休みが終わり、31日から中学校、1日から小学校と幼稚園が再開。学校大好きLちゃんは喜んで登校していきました。



◆ 9月4日

南房総市の千倉で、新鮮なお魚料理を食べました。お刺身や焼き物、小鍋、つぼ煮などに舌鼓を打ち、お腹いっぱいになりました。



◆ 9月6日

MYちゃんとMHちゃんが入所。晩ごはんはMYちゃんの希望で回転寿司テイクアウト。ついこの前、お刺身をお腹いっぱい食べたばかりだけど(笑)

◆ 9月7日

MHちゃんが泣いていたので、お父さんが抱っこしてあやしていました。するとY Iちゃんが、お父さんの足にしがみついて自分の存在をアピール。いつも私を抱っこしてくれるのに、ってジェラシーを感じたのかな。

◆ 9月12日

この日は避難訓練を行いました。近くを流れる河川が氾濫したと想定し、物資を備蓄する近隣施設の2階へみんな避難。防災バッグを背負ってピクニック気分のLちゃんとRちゃん、MHちゃんを抱っこして移動し「暑い…」とつぶやくMYちゃん、急いで避難したのでお疲れ模様のお母さん。三者三様の避難訓練でした。

◆ 9月28日

数日来高熱が続いたY Iちゃん、この日は夜中にギャン泣き。少し落ち着かせようと救命丸を飲ませたところ、よほどその味がお気に召さなかったのか、少し前に飲んだミルクを全部吐き戻しました。掃除が大変でした(苦笑)。ちなみに、次の日にはY Iちゃんの体調もいつも通りに戻りました。

~~~ ちょっと休憩 ~~~

今から数年前、とある居酒屋で気の合う仲間と杯を傾けながら、とりとめのない会話を楽しんでいた時の話。気がつけばラストオーダーも終わり、閉店カウントダウン。スタッフから退店を促され、やがてBGMが流れてきました。

一人が「あ、蛍の光だ」とつぶやくと、別の一人が「これは違う。別れのワルツだ」。ここから音楽の話に火がつけました。ご存じの方も多いと思いますが「蛍の光」「別れのワルツ」ともにスコットランド民謡「オールド・ラング・サイン」が原曲です。

日本では「蛍の光」が卒業式などの場面でよく歌われ、別れのイメージが定着しています。一方、米国映画「哀愁」で原曲をワルツ調にした挿入歌が使われ、これをアレンジしたのが「別れのワルツ」です。

「別れのワルツ」は店舗向けの業務用音楽配信サービスなどで配信されていることから、閉店前のBGMの定番として多く使われています。居酒屋で流れていたのも「別れのワルツ」でした。一番の違いは拍子。「蛍の光」は4拍子、「別れのワルツ」は3拍子です。

居酒屋での話に戻ります。「別れのワルツ」が流れる中、「蛍の光」を3拍子で歌えばどうだろう、さほど違和感なく歌えるね、といった話で盛り上がっていたら、再びお店のスタッフがやってきて「そろそろお時間ですので・・・」。その顔には「そんな話はどうでもいいから早く出ていってくれ」と書いてありました。(S)

## 『実子に話を聞いてみました』

KOくん(中3)とYUちゃん(小6)は、ホームのおばちゃん、おじちゃんの実子。2人の目には、多くの子どもが暮らすファミリーホームや子どもたちの世話をする両親の姿はどのように映っているのでしょうか。話を聞いてみました。

2人について紹介すると、KOくん小1、YUちゃん保育園年少の時に父親の転勤で大阪から千葉に転居し、KOくん小6、YIちゃん小3の時に再度大阪へ。そして昨年6月、ホームを手伝うことになった母親と一緒に現在の地に拠点を移しました。

——最近の生活はどうかですか？

**KOくん** 部活で剣道をしていたけど、RSウイルスに感染して発熱したから最後の大会に参加できず、コロナ禍で昇級審査も中止となって、そのまま引退することになりました。悔しかったけど、仕方ないと思っています。

**YUちゃん** 毎日平和に過ごしています(笑い)。強いて言うなら、同じクラスでコロナワクチンを接種した友だちが増えてきたけど、私は早生まれでまだ接種できないので、早く誕生日が来ないかなと。

——昨年6月に大阪から引っ越してきました。KOくんもYUちゃんも引っ越しは3回目になるけど、引っ越しが決まった時は嫌だった？

**KOくん** 友だちと離れ離れになるのは寂しいし、転校はいつも嫌だけど、こればかりはしょうがないです。去年引っ越した時は、中学から始めた剣道が軌道に乗ってきた頃だったし、仲のいい友だちもいたので残念でした。ただ、こちらで新しい友だちもできたとし、剣道も続けています。住めば都です。

**YUちゃん** 引っ越しは全然嫌ではなかった。引っ越した先で新しい人生が待っていると思っていたので。千葉から大阪に引っ越した時は、当時通っていた日本舞踊の教室を辞めるのが悲しかったけど、いざ大阪に来たら面白いことも多かった。3回目になると引っ越しも慣れっこです。

——ひろせホームを手伝うとお母さんから聞いた時は、どう思った？

**KOくん** 以前もお母さんは時々手伝いに行っていたし、僕もよく同行していたので、手伝うと聞いて

違和感はなかったです。時々手伝っていたのが、ずっと手伝うことになったと思ったぐらい。

**YUちゃん** お母さんがホームの手伝いに行くと、必ずおばあちゃんと口喧嘩していたので、仲が悪いのになぜ手伝うのかなと思いました。親子で意見をぶつけ合っていただけだと今なら分かります。あれが母と娘の接し方なんですね(笑い)。

——ホームの日常をどのように感じていますか。

**KOくん** お母さんは毎日みんなのごはんをつくらたりYIちゃんの世話をしたりして忙しそうにしています。YIちゃんの面倒をみるなど、僕もできることがあれば手伝うように心掛けています。以前時々ホームに来た時も手伝っていました。

**YUちゃん** 子どもが多いので、兄弟姉妹が増えた感じ。YIちゃんが泣いていたら抱っこするし、LちゃんやRちゃんが叱られてベソをかいていたら慰めたりします。Lちゃん、Rちゃんと一緒に私も叱られる時があるけど(笑い)

——お母さんが忙しくて、こっちにかまってくれない時は寂しいと感じる？

**KOくん** かまってくれなくても大丈夫です。もう僕も15歳ですから(笑い)。忙しそうにしているお母さんを見たら、そんなことを言ってる場合じゃないと思います。

**YUちゃん** 寂しいと思ったことはないです。お母さんは忙しくても私たちのことを見てくれるし、毎日話をしています。

——ホームで暮らす中で気をつけていることはありますか。

**KOくん** ホームの女の子との距離感は気にしています。一緒に遊んだりするけど、その時は距離が近すぎないようにしようといつも思っています。

——今年の春にはお父さんもこっちに来たけど？

**YUちゃん** 別に(笑い)。チャンネル争いの相手が1人増えたという感じです。たまに勉強を教えてください。あとは、私を叱る人が1人増えたという感じです(笑い)。

**KOくん** 毎日一緒に晩ごはんを食べて、その時によく話をします。それを見て、いつもおばあちゃんが「父親と息子、仲良きことは美しきかな」と言っています。

(終)

## 【朝日新聞で紹介されました！】

朝日新聞の9月11日（土）付の週末別刷り紙面『be』で、ひろせホーム代表の廣瀬タカ子を取り上げられました。

時代の最先端で活躍する人物にスポットをあてた「フロントランナー」のコーナーで、里親に携わるようになったきっかけ、国会議員や厚生労働省への陳情などファミリーホームの制度化を目指した活動、ファミリーホームの必要性、これまでの振り返りや苦い思い出などを廣瀬が語っています。



この記事執筆したのは川村直子記者。2007年5月から2008年3月にかけて朝日新聞大阪本社発行版の社会面に掲載された、児童相談所や児童養護施設、里親などにスポットを当てた連載において、写真記者として当ホームに長期取材に入られました。

それ以来、懇意にさせていただき、時間があればホームの行事にも参加してくれます。そんな川村さんに、子どもたちもすっかり懐いているようです。

## 【編集後記】

9月12日、わが国初の女子プロサッカーリーグ「WEリーグ」が開幕しました。サッカーで女性活躍を推し進め、スポーツ界だけでなく社会全体をけん引する存在として注目を集めています。

WEリーグは、運営組織の役職員の50%以上を女性とすることや、役員に女性を最低一人は登用すること、スタジアムでの託児所の設置といった参入基準を設けています。

さらに、選手が妊娠、出産後も現役を続けられるように「産休制度」を導入しました。妊娠で活動を中断し、いったん選手登録から外れても、出産後は再登録が容易で復帰しやすい制度となっています。

実際、ジェフユナイテッド市原・千葉レディースの大滝麻未選手は現在妊娠中で、出産後に復帰する予定。大滝選手は「長期間サッカーから離れることに不安はある」としつつ、先に出産を経て復帰を果たした日テレ・東京ヴェルディベレーザの岩清水梓選手の名前を挙げて、「1人1人が切り開いていくことで新しい何かが生まれ、女性が挑戦できる環境が構築される」と話しています。

男子選手は、子どもが生まれたから、父親になったからといって引退することはありません。いつの日か、妊娠・出産を経て現役復帰する道を何の葛藤もなく選択できる社会が来ることを願ってやみません。

（ホーム通信担当・柴田恭輔）